

(再評価)

資料 3 - 6 - ①  
平成 29 年度 第 1 回  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会

# 一般国道14号 両国拡幅

平成29年7月7日

国土交通省 関東地方整備局

# 目次

|                |       |    |
|----------------|-------|----|
| 1. 事業の概要       | ..... | 1  |
| 2. 事業の進捗状況     | ..... | 4  |
| 3. 事業の評価       | ..... | 6  |
| 4. 事業の見込み等     | ..... | 9  |
| 5. 関連自治体等の意見   | ..... | 10 |
| 6. 今後の対応方針(原案) | ..... | 11 |

# 1. 事業の概要

## (1) 事業の目的と計画の概要

・当該区間は、JR総武線、首都高速小松川線と並行しており、墨田区の人口集中地域を通過している。

### 目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 大規模震災時の緊急輸送道路の確保

### 計画の概要

区 間 : とうきょうとちゅうおうくひがしにほんばし  
 自) 東京都中央区東日本橋二丁目  
 とうきょうとすみだくみどり  
 至) 東京都墨田区緑四丁目

計画延長・幅員 : 1.9km・29.3m~35.0m  
 車線数・計画交通量 : 6車線・49,100~54,200台/日  
 事業化 : 平成10年度  
 事業費 : 約250億円

### 平面図



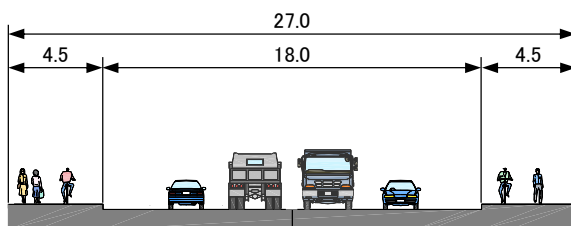
計画交通量(台/日)



### 標準横断面

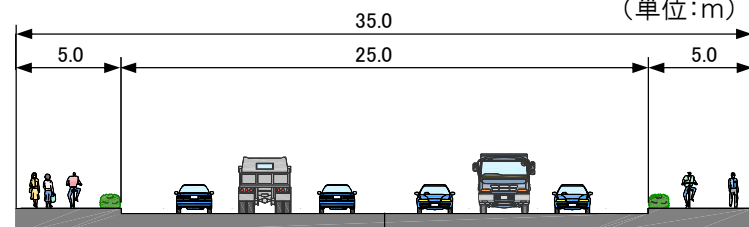
#### 整備前

《土工部》  
①-①断面

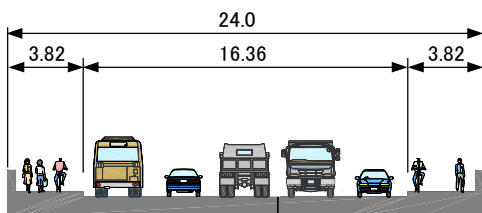


#### 整備後

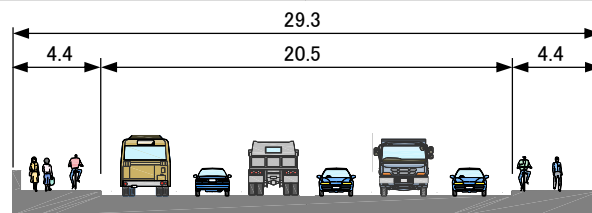
《土工部》  
①-①断面



《橋梁部(两国橋)》  
②-②断面



《橋梁部(两国橋)》  
②-②断面

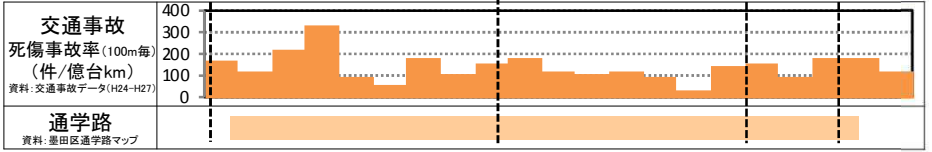
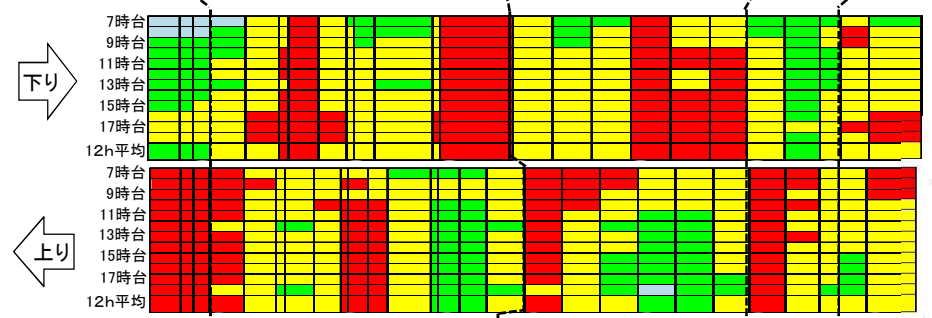


# 1. 事業の概要

## (2)-1 事業の必要性(国道14号の渋滞、交通事故状況)

- ・国道14号の両国拡幅区間は、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」により緑一丁目、緑三丁目の2つの交差点が主要渋滞箇所特定。
- ・事故類型は車両相互の追突事故が多く、全体の約4割を占める。
- ・両国拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、交通混雑の解消、交通事故減少が見込まれる。

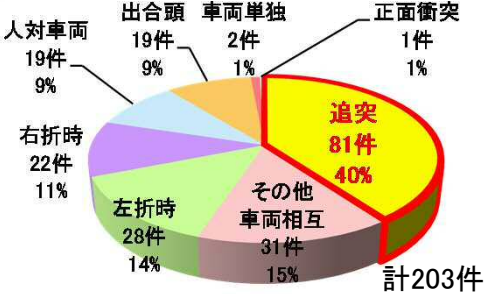
### 国道14号現道の渋滞発生状況



出典: ETC2.0プローブデータ(H28/4~H29/3全日)

0~20km/h 20~30km/h 30~40km/h  
40~50km/h 50km/h以上

### 事故類型

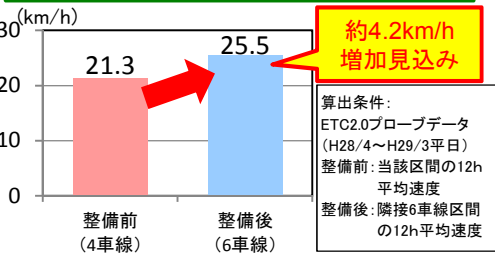


資料: 交通事故データ(H24-H27)

写真① 緑一丁目交差点の渋滞状況



### 開通後の走行速度



写真② 緑三丁目交差点の渋滞状況



# 1. 事業の概要

## (2)-2 事業の必要性(防災ネットワークの機能強化)

- ・両国拡幅区間は、特定緊急輸送道路に指定されており、交通確保指定路線に位置付け。
- ・震災等が発生した際は、特定緊急輸送道路として消火、救命活動を行うスペースと緊急輸送を円滑に行うための幅員を確保。
- ・また、首都直下地震発生の際、都心に向けた八方向毎に優先啓開ルートを設定し、一斉に道路啓開を進行する八方向作戦における北東方向の道路啓開候補路線に選定。

東京都の特定緊急輸送道路



出典: 東京都 耐震ポータルサイト

八方向作戦の道路啓開候補路線



写真 震災により通行できない道路(神戸市中央区)  
 出典: 神戸災害と戦災資料館(神戸市HP)

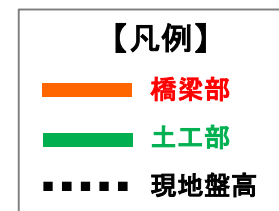
# 2. 事業の進捗状況

## (1) 事業の経緯

|          |                             |            |                               |
|----------|-----------------------------|------------|-------------------------------|
| 昭和21年 3月 | 都市計画決定                      | 平成10年度     | 事業化                           |
| 昭和39年 2月 | 都市計画変更(幅員変更)                | 平成19年5月    | 事業計画説明会(計6回)                  |
| 昭和56年 2月 | 都市計画変更<br>(立体構造廃止 緑一、緑三交差点) | 平成21年6月・7月 | 設計用地説明会                       |
| 昭和57年12月 | 都市計画変更(隅切長変更)               | 平成22年6月・7月 | 設計用地説明会<br>(墨田区緑一丁目交差点区間・計5回) |
|          |                             | 平成24年度     | 用地買収着手                        |



写真 江東橋付近の状況



整備前区間  
(4車線)

拡幅済区間  
(6車線)

# 2. 事業の進捗状況

## (2) 残事業の概要

- ・平成24年度より緑一丁目交差点区間の用地取得に着手し、用地取得率は約11%（平成29年3月末時点、面積ベース）。現在、用地取得を推進中。
- ・工事の進捗率は0%。今年度中に緑一丁目交差点区間の一部工事着手予定。
- ・マンション用地調査及び用地交渉における不在者や海外渡航者への対応状況を踏まえ、平成30年度に完了を予定していた用地取得を平成32年度まで実施することとしたため、工事期間を含めた事業期間を平成32年度から平成34年度に変更。



撮影：H26.3



撮影：H29.4

写真 緑一丁目交差点区間

| 前回<br>評価時<br>H26 | 工事 |  |  |  | 用地取得率 |
|------------------|----|--|--|--|-------|
|                  | 用地 |  |  |  |       |
| 今回<br>評価時<br>H29 | 工事 |  |  |  | 用地取得率 |
|                  | 用地 |  |  |  |       |

※平成29年3月末時点

### 3. 事業の評価

#### ■総便益(B)

道路事業に関わる便益は、平成42年度の交通量を、整備の有無それぞれについて推計し、「費用便益分析マニュアル」に基づき3便益を計上した。

【3便益：走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益】

#### ■総費用(C)

当該事業に関わる建設費と維持管理費を計上した。

#### 1) 計算条件

※費用対効果分析に係わる項目は平成26年度評価時点

- ・基準年次 : 平成26年度
- ・開通予定年次 : 平成33年度
- ・分析対象期間 : 開通後50年間
- ・基礎データ : 平成17年度道路交通センサス
- ・交通量の推計時点 : 平成42年度
- ・計画交通量 : 49,100～54,200(台/日)
- ・事業費 : 約250億円
- ・総便益(B) : 約343億円(約946億円※)
- ・総費用(C) : 約208億円(約260億円※)
- ・B/C : 1.7

※基準年次における現在価値化前を示す。



### 3. 事業の評価

注：費用対効果分析に係る項目は平成26年度評価時点

#### 2) 事業全体

|       |              |              |              |       |                |
|-------|--------------|--------------|--------------|-------|----------------|
| 便益(B) | 走行時間<br>短縮便益 | 走行経費<br>減少便益 | 交通事故<br>減少便益 | 総便益   | 費用便益比<br>(B/C) |
|       | 323億円        | 19億円         | 0.63億円       | 343億円 |                |
| 費用(C) | 事業費          |              | 維持管理費        | 総費用   |                |
|       | 200億円        |              | 7.5億円        | 208億円 |                |

#### 3) 残事業

|       |              |              |              |       |                |
|-------|--------------|--------------|--------------|-------|----------------|
| 便益(B) | 走行時間<br>短縮便益 | 走行経費<br>減少便益 | 交通事故<br>減少便益 | 総便益   | 費用便益比<br>(B/C) |
|       | 323億円        | 19億円         | 0.63億円       | 343億円 |                |
| 費用(C) | 事業費          |              | 維持管理費        | 総費用   |                |
|       | 169億円        |              | 7.5億円        | 176億円 |                |

注1) 便益・費用については、平成26年度を基準年とし、社会的割引率を4%として現在価値化した値である。

基準年：平成26年度

注2) 費用及び便益額は整数止めとする。

注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

注4) 便益・費用については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

# 3. 事業の評価

## 費用対効果分析実施判定票

別添様式

年度：平成29年度

事業名：国道14号 両国拡幅

担当課：計画課

担当課長名：山下 敦馬

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

| 項目   | 判定  |       |
|--|---|-------|
|  | 判断根拠  | チェック欄 |
| <b>(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合</b>  |   |       |
| <b>事業目的</b>  |   |       |
| ・事業目的に変更がない  | 事業目的に変更がない。   | ■     |
| <b>外的要因</b>  |   |       |
| ・事業を巡る社会経済情勢の変化がない<br>判断根拠例[地元情勢等の変化がない]   | 周辺に新たに事業化された区間がなく、地元情勢等の変化がない。  | ■     |
| <b>内的要因&lt;費用便益分析関係&gt;</b><br>※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。<br>注)なお、下記2.~4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。 |   |       |
| 1. 費用便益分析マニュアルの変更がない<br>判断根拠例[B/Cの算定方法に変更がない]  | B/Cの算定方法に変更がない。   | ■     |
| 2. 需要量等の変更がない<br>判断根拠例[需要量等の減少が10%※以内]   | 将来OD表に変更がない。  | ■     |
| 3. 事業費の変化<br>判断根拠例[事業費の増加が10%※以内]  | 事業費に変更がない。  | ■     |
| 4. 事業展開の変化<br>判断根拠例[事業期間の延長が10%※以内]  | 前回評価時の事業期間23年(H10~H32)に対し、8.7%(2年)の延長であり、10%以内である。  | ■     |
| <b>(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でない判断できる場合</b>  |   |       |
| ・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい<br>判断根拠例[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上]<br>または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。  | 前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。<br>H26年度実施の下位値<br>【事業全体】<br>①交通量(-10%)B/C=1.5<br>②事業費(+10%)B/C=1.5<br>③事業期間(+20%(+2年))B/C=1.5<br>【残事業費】<br>①交通量(-10%)B/C=1.7<br>②事業費(+10%)B/C=1.7<br>③事業期間(+20%(+2年))B/C=1.8 | ■     |
| 前回評価で費用対効果分析を実施している  | 平成26年度に実施   | ■     |
| 以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。   |   |       |

# 4. 事業の見込み等

## (1) 事業進捗状況の見込みの視点

- ・平成10年の事業化後、空中写真測量や道路予備設計を実施。
- ・平成19年5月に事業計画説明会を計6回開催し、平成21年6月、7月及び平成22年6月、7月に設計用地説明会(墨田区緑一丁目交差点区間・計5回)を実施。
- ・平成24年度より用地着手、マンション用地調査及び用地交渉における不在者や海外渡航者への対応状況を踏まえ、事業期間を平成32年度から平成34年度に変更。
- ・今後、電線共同溝及び改良工事を行い、全線6車線開通を予定。

## (2) 事業の計画から完成までの流れ(両国拡幅事業)

| 年度         |    | S21    | H10    | H11   | H12          | H13  | ~            | H15  | H16    | H17           | H18 | H19  | H20 | H21  | H22                 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29  | H30 | H31  | H32  | H33 | H34 |  |
|------------|----|--------|--------|-------|--------------|------|--------------|------|--------|---------------|-----|------|-----|------|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|------|-----|-----|--|
| 都市計画決定     | 前回 | 都市計画決定 |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 今回 | 都市計画決定 |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
| 事業化・有料事業許可 | 前回 |        | 事業化    |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 今回 |        | 事業化    |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
| 測量・調査・設計   | 前回 |        | 空中写真測量 | 交通量調査 | 概略設計(交差点・道路) | 路線測量 | 予備設計(交差点・道路) | 路線測量 | 予備修正設計 | 用地測量・物件調査(線一) | 設計  | 設計   | 設計  | 設計   | 設計用地測量・物件調査(線三、両国二) |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 今回 |        | 空中写真測量 | 交通量調査 | 概略設計(交差点・道路) | 路線測量 | 予備設計(交差点・道路) | 路線測量 | 予備修正設計 | 用地測量・物件調査(線一) | 設計  | 設計   | 設計  | 設計   | 設計                  | 設計  | 設計  | 設計  | 設計  | 設計  | 設計  | 設計   | 設計  | 設計   | 設計   | 設計  | 設計  |  |
| 設計・用地説明会   | 前回 |        |        |       |              |      |              |      |        |               |     | 事業計画 |     | 設計用地 | 設計用地                |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 今回 |        |        |       |              |      |              |      |        |               |     | 事業計画 |     | 設計用地 | 設計用地                |     |     |     |     |     |     | 設計用地 |     |      |      |     |     |  |
| 両国橋        | 工事 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     | 工事着手 | 工事   | 完成  |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      | 工事着手 | 工事  | 完成  |  |
| 両国二丁目交差点区間 | 用地 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 工事 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
| 緑一丁目交差点区間  | 用地 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 工事 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
| 緑三丁目交差点区間  | 用地 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            | 工事 | 前回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |
|            |    | 今回     |        |       |              |      |              |      |        |               |     |      |     |      |                     |     |     |     |     |     |     |      |     |      |      |     |     |  |

※完成年度は、費用便益比算定上設定した年次である。

(前回再評価)

(今回再評価)

※平成29年3月末時点

## 5. 関連自治体等の意見

### (1) 東京都からの意見

本事業は、渋滞緩和や防災性の向上に資する重要な事業である。  
このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進すると共に、緑一丁目交差点の改良工事に着手し、事業効果の早期発現を図ること。  
また、事業実施に当たっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。

## 6. 今後の対応方針(原案)

### (1) 事業の必要性等に関する視点

- ・両国拡幅は、国道14号東京都内区間の中で、都市計画(6車線)の未整備区間として残っている区間である。
- ・両国拡幅区間は、特定緊急輸送道路に指定されており、緊急車両などが消火活動、救命活動を行うスペースと円滑な緊急輸送を確保することができる。
- ・費用対効果(B/C)は、1.7である。

### (2) 事業進捗の見込みの視点

- ・今後、着実な整備推進のため、平成29年度には、緑三丁目交差点区間の設計用地説明会開催、緑一丁目交差点区間の一部工事区間で着手予定。
- ・用地進捗に伴い、地元から事業に対する早期整備要望もあり、更なる事業進捗を図る。

### (3) 対応方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・国道14号は、東京都中央区～千葉県千葉市を連絡する主要幹線道路であり、交通渋滞の緩和や防災ネットワークの機能強化の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。